

た燐酸は至て一水溶性」ですから、これ等の肥料を石灰、草木灰、石灰、窒素、燐等と混合してはなりません。

ますと民國二十七年から三十一年の間に、市場で販賣された肥料の半數は配合肥料で、民國三十年の如きは全數の七割に達してゐます。配合肥料がこの様に好評なのは、色々な利益があるからで、例へば、數種の肥料を混合したいとき自分でする必要がない事、作物、土壌の性質に應じて多種な配合肥料から適當なものを選んで施肥事ができる事、また二種以上の肥料を混合した場合、單一肥料より効果が大きい等の利益があります。光復以後、いづ／＼な理由で配合肥料を共給する事が收すると、分解し難い塊状になつて非常に使用に不便となつてゐます。確安、硝安石灰、硫酸安、尿素、石灰窒素などは總べて吸濕性が強く結塊しやすいものです、故に、これ等の肥料を他種の肥料と混合する時には、肥料袋を開封したら、直ちに混合し、施用も早い方が良く、長期の貯藏は避けるべきです、なほ、豆餅、花生餅の如き有機質肥料を配合肥料に加へると吸濕結塊を防止できますから、次回に肥料を混合する時には試してみるのが面白いと思ひます。

でも自分では混合して醗合肥料をつくる事はさして難しい事でなく、また、既製品に劣らないものができます。次に肥料配合の際に注意すべき要點を述べてみませう。

強酸性の土壤に施す時には、アルカリ性のものを、反対に、アルカリ性の土壤には酸性の肥料を施す事が望まれます。左に、現在の臺灣で比較的に多く使用されてゐる肥料の性質と参考する二農家の

[illegible]

配合肥料は混合を平均にして製造する

には、肥料がよく混合されておなればなりませぬ。混合を平均にするには次の様にすれば簡単にできます。

まず、セメント造りの粗乾燥場に分量の多い方の肥料(例へば素稈肥料)を三・四

少い方の肥料（磷酸料、加里）に發情し、二―三日間繼續する。種付は發情の後半に行うのが受胎率がよい。

△人蔘は從來連作を嫌うと云はれてゐたが、試験の結果、連作の害は認められ、印の害は認められ、

くかなり收量も増加する傾向があると云はれてゐる。

△米國では、蕃茄は南の暖地に多く栽培されるが、採苗の三日前に砂糖の十%液を二、三回散布すると發根が良く散布し、植え傷みが少ないと云ふ。

△菊生産用の蠶種は普通蠶種で、その親を原蠶種、原蠶種の親を原原蠶種と云ふ。原蠶種は純粹種または固定種で、普通蠶種は一代交雜種である。

△四十一年度の本省の小麦産量は一萬六千余噸で、本省消費量の約四分の一を満すに過ぎない。彰化、臺中二縣は主要生産縣で全産量の過半を生産する。

農業小知

エの糞を紐を締
中にゐて
來ない。
△米
寄生蟲の
豚では一
二二十斤
云つてゐ
、特に燐
や、遍効
給肥料中
に最適で
△家
馬は三四
日、羊あ
五日、羊
△白

豆餅	堆肥(腐熟)	同
同前各種燐		

石灰	窒素	溶	澱	同
尿	素	各種	澱肥	各

右の表のうち、各種のアンモニア（安）肥料と人糞尿を石灰窒素と混合できない以外は、互に各種の窒素肥料を

肥は、若し長く貯藏する場合
△ボルドー液は細い霧に
して遠くからかけるとよい。
流れる位にかけ過ぎると葉縁
にたまつて藥害を生ずること
がある。

△水田作業のとき、タバ
コの粉をスソに少し入れ
て土を濡らすと、長

中にゐても蛭は集まつて来ない。

△米國畜産局では、寄生蟲のゐる豚となない豚では一カ月後の體重に二十二斤の差が出來たと云つてゐる。

△鶏糞は窒素、加里、特に磷酸を多く含み、やゝ遲效性であるが、自給肥料中最も濃厚で麥作に最適である。

△家畜の妊娠期間は馬は三四〇日、牛二八〇日、羊一五〇日、豚一五五日である。

△白菜の肥料は窒素が最重要で次は加里である。加里を充分施すと病害に對して抵抗力が強い。

△水稻倒伏の原因は窒素過多、深水灌漑、日照不足、病蟲害等である。

へて、今にも死にそうです。

右の寫眞の仔豚は瘦せ衰



豚の蛔虫

前	前	前
司前	合するの良	ら、硫安や燐安と

右に述べた様に、數種の肥料は場合によつては混合すると悪い結果になります、然しこの事は、これ等の肥料	前	種加里肥
---	---	------

を同様の田畑に方してせんと
といふわけでありませう。
例へば、甲乙兩種の肥料を混
合して配合肥料とした場合、肥
化學變化を起して、品質、肥
効を低下する事があり、ま
しこの二種の肥料を混合
せずに前後して同じ田地に施
した場合には、不利な變化を
する事がなく、肥効も低下し

三、ここに性質の異なる甲乙の肥料を土壌に施すとし、と、廣い土壌中では二種の

右の寫眞の仔豚は瘦せ衰
て、今にも死にそうです。
これは、この仔豚が體内に蛔
蟲を持つてゐるからです。調
査によると、全省の半數以上
の豚は多少なりとも蛔蟲を持

その数が特に多いと非常に危険な状態になります。殊に鰓蟲がわきやすく、また成豚に較べて抵抗力も弱いので、害が大きいから注意が必要です。鰓蟲を持つた仔豚の体内の養分が吸収されるので、發育が停止し、貧血を起

仔豚は親豚から蛔虫をつつされる。

親の糞

蛔虫卵の拡大

母乳といつぱに蛔虫卵ものみこむ。

痛を起します。その害が、
い時には寫眞の様に瘦せ

仔豚の蛔蟲は何處から傳つて來るものでせうか？一番多いのは、親豚から蛔蟲の卵をうつされる事です。これは、親豚の糞の中に混つてゐた蛔蟲の卵が、乳を吸ふとき、仔豚にうつるのです。仔豚の體に入つて回蟲の卵は、腸に入、胚舎と青糞と、糞が

い蟲に成長し、腸に暫く留り、一部分の蟲は腸壁を破つて肝臓、肺臓あるひは其の他の内臓に入り、そこから更に口中に戻つて、そこで食物と共に、もう一度腸に入り、ここで成長し、卵を産み始めます。一匹の蛔蟲の雌は一日に二十萬個の卵を産むと云はれて

溜らない様にする。豚舎を清めるには、灰汁をお湯に溶かして洗ふ。

然し不幸にして仔豚に蛔蟲が發生したら、すぐに蟲下しの藥を吞ませます。藥はチオヂフェニールアミン劑が良いが、サントニンでも役に立

予防は親豚の駆除から
 治療 仔豚 1.5グラム
 ミン劑がよい。
 (フエノチアヂン等)
 成豚には30グラム、エサにまぜて
 タ方のませること。
 (省産の薬虫劑の時
 は説明文をよく
 読んで使用する。


